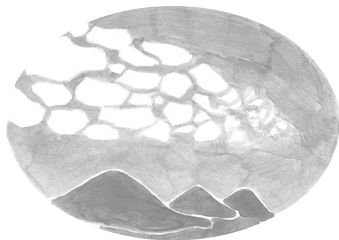




^{あき}秋の^{くも}雲　ちぎれちぎれて　なくなりぬ



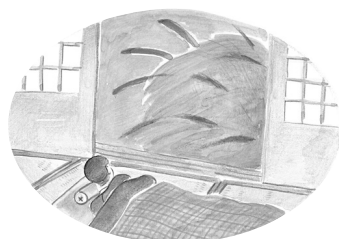
^{ないとうめいせつ}
内藤鳴雪

^{ひるめし}昼飯を　ぶらさげている　かがしかな



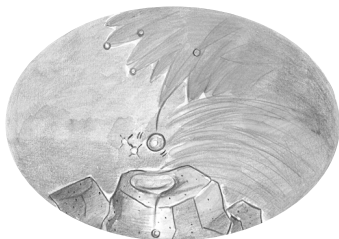
^{こばやしいっさ}
小林一茶

^{くび}首あげて　^お折り^お折り^み見るや　^{にわ}庭の^{はぎ}萩



^{まさおかしき}
正岡子規

^{こんごう}金剛の　^{つゆ}露ひとつぶや　^{いし}石の^{うえ}上



^{かわばたぼうしゃ}
川端茅舎



いちじつ せんしゅう

一日千秋

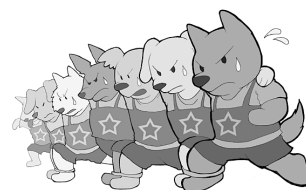
まだかなあ、まだかなあと、まちどおしい。



いっしん どうたい

一心同体

みんなが^{こころ}心をひとつにする。



じ ゆう じ ざい

自由自在

自分の^{じぶん}思いの^{おも}ままにできる。



しゅしゃ せん たく

取捨選択

よいものを選び、悪い^{わる}物を^{もの}すてる。





《国会のうた》

ぼく 国民の代表機関 唯一の立法機関

僕の名前は 国会だ 僕の仕事を 知っているかい

予算の議決 条約の承認

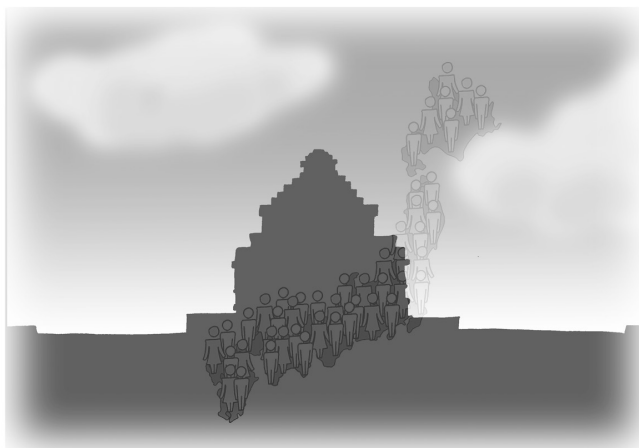
法律の制定 憲法改正の発議

まだまだ あるよ

内閣総理大臣の指名 弾劾裁判所の設置

国政調査権の証人喚問

僕の給料 税金だ もっともっと 働くぞ





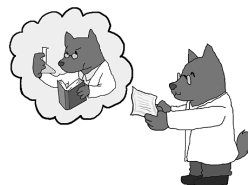
きゅう そ ねこ か
窮鼠猫を噛む

弱い者でも必死になると強い者を苦しめるたとえ。



あま だ いし うが
雨垂れ石を穿つ

小さな力でも根気よくコツコツ続けていれば最後には成功するということ。



おも た きち じつ
思い立ったが吉日

何かをしようと思い立った日が、それをするのに良い日である。



こう いん や ごと
光陰矢の如し

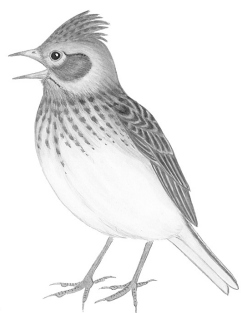
月日が経つのは早いものだというたとえ。



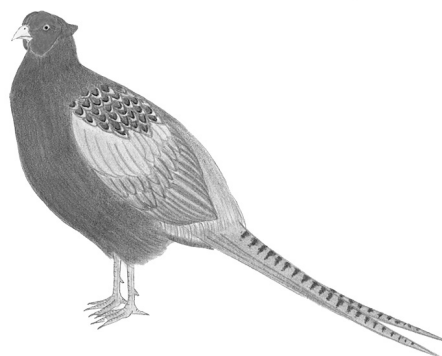
ひと み
人は見かけによらぬもの

人の性質や行動を上辺だけで評価してはいけない。





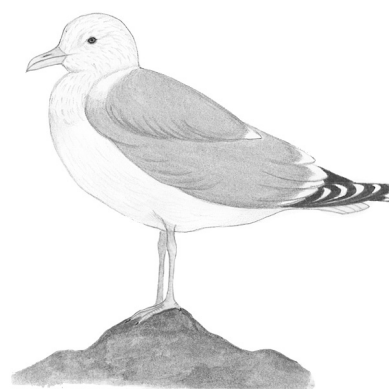
ヒバリ



キジ



トビ



カモメ



夏の夜はまだ宵ながら
雲のいづくに明けぬるを
月宿るらむ

(清原深養父)

人は心も知らず
花ぞ昔のふるさと
香にほひける

(紀貫之)

